

自由民主党「バス議員連盟総会」が開催されました

令和4年6月15日（水）、自由民主党「バス議員連盟総会」が開催されました（於 衆議院第二議員会館地下1階第1会議室）。

日本バス協会からは、清水会長はじめ、宮岸副会長、早川税制対策委員長、宮本貸切副委員長、渡邊貸切委員、湯地貸切委員などが出席しました。



冒頭、バス議連会長の逢沢先生が、参議院選挙後の予算・税制要望、さらに年末へ向けて、バス事業をしっかりと支えられるよう取り組んでいく旨挨拶されました。

続いて清水会長から、バス業界がコロナによる打撃に加えて燃料価格の高騰で危機的な状況にあることを訴えた上、バス事業を存続していくために、固定資産税の減免、団体旅行への長期の支援・後押し、燃料高騰対策、コロナの影響を見た上での乗合バス運賃改定の早期認可、貸切バスの悪質事業者退出、EVバス導入補助の拡大、などを強く要望しました。

また、出席された先生方からは、今後もバス事業を経営していくことができるよう固定資産税減免など各種支援措置を講じるべきことを今日のバス議連の決議に書き込む必要がある、国土交通省がもっと積極的に取り組むべき、などの多くの力強いご発言をいただきました。

これらに対し出席した省庁からは、今日の要望を踏まえ夏の概算要求、税制要望に向けしっかりと検討を進めていく（国土交通省・大辻旅客課長）、引き続き国土交通省とも連携して対応していく（総務省自治政策局・神門調整課長）などの発言がありました。



最後に、本日の議論を踏まえ、バス議連の決議の取扱いを逢沢会長に一任することとなり、逢沢会長から、バス事業が、今後、鉄道廃止後の受け皿となることも含め、持続可能な経営ができるような仕組みの構築に向けて努力していきたい旨の挨拶をもって終了しました。

【出席の先生方31名】